

『「計算力実態調査」を生かす』

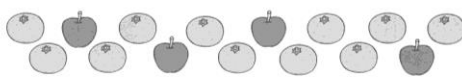
計算力実態調査委員会 担当副部長 浜松市立中郡小学校 北村 祐大

年度初めの御多用の中、計算力実態調査に御協力いただき、ありがとうございました。

この調査は、年度当初に算数科の基礎・基本である数概念や計算力の実態を把握し、1年間の指導に生かしていくために実施しています。5月には「令和6年度計算力実態調査第1次報告書」を送付させていただきました。自校の結果と比較しながら御活用ください。

そして、今年度も昨年度に引き続き、結果の中から2年生⑳の問題に注目しました。昨年度の問題作成の際に検討し、下のように変更した問題です。どこを変更したでしょうか。

8 りんごが 4こ、みかんが 11こ
あります。
どちらが なんこ おおいてしょうか。

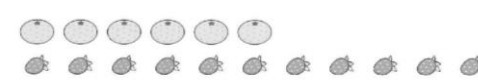


しき

こたえ
 が こ おおい。 ㉔

【令和5年度の問題】

8 みかんが 6こ、いちごが 11こ
あります。
どちらが なんこ おおいてしょうか。



しき

こたえ
 が こ おおい。 ㉔

【令和6年度の問題】

実は、絵の果物の並べ方を変更しました。この問題は、昨年度の問題に絵を加え、（令和4年度までは絵がなく文章のみ）正答率がどのくらい上がるのかを見る予定でした。しかし、結果は2%下がるという結果になりました。（令和4年度正答率81%→令和5年度正答率79%）そこで、より分かりやすい絵にして、正答率がどのくらい上がるのかを見てみようということになりました。どうなったと思いますか。結果は、昨年度よりも5%下がるという結果になりました。（令和5年度正答率79%→令和6年度正答率74%）

どうして正答率が下がったと考えるでしょうか。

誤答例を見ると、ほとんどが、6-11という式の間違いです。私は、絵があることで、問題を解いている子供たちに、みかんが先、いちごが後と言うことが印象付けられてしまったのではないかと思います。子供たちは、私たちが思っている以上に立式が苦手で、式の意味、式のよさが理解できていないのではないのでしょうか。私は、5・6年生と小数や分数のかけ算・わり算を学習しているときに、簡単な整数にして、考えてみようという提案することがあります。例えば、「1.6mが9.6kgの棒があります。1mは何kgでしょう。」という問題で、「2mが6kgの棒があります。1mは何kgでしょう。」とします。すると、子供たちはすぐに答えは3kgと答えます。しかし、「式はどうなりますか。」と問い返すと、答えられない子がいます。問題場面を理解し、答えが分かっているにもかかわらず、式に表すことができない子が一定数いるのです。計算練習ばかりに重きを置かず、立式する機会も十分に確保する必要があります。式のよさを理解させたり、思考過程を式で表現させたりすることで、算数の力を付けていくことが大切だと思います。計算力実態調査の趣旨からは、少しずつ弱まってしまっているかもしれませんが、書かせていただきました。これからもこの計算力実態調査が日々の実践に活用できるよう、研修を重ねてまいりたいと思います。

子供たちと一緒に「算数」を学ぶことを楽しむ！

浜松市立引佐北部小中学校

平田 香織

算数は、教科の中でも得意な子と苦手な子の差が出やすい教科だと感じます。算数は、自分で解けると「おもしろい。」「もっとやりたい。」と意欲的に取り組みますが、意味が分からないと苦手意識をもってしまいがちです。そこで、私が担任していた子供たちに「算数っておもしろい。」と思ってもらえるように授業で話していた「身の回りの算数小話」を紹介します。

数字っておもしろい「数当て遊び」(4年生以上の年度初めの授業で)

- ① 1～9のうち好きな数を1つ選びましょう。(例A：9) (例B：5)
 - ② その数を4倍してみましょう。(例A： $9 \times 4 = 36$) (例B： $5 \times 4 = 20$)
 - ③ その答えに8を足してみましょう。(例A： $36 + 8 = 44$) (例B： $20 + 8 = 28$)
 - ④ その答えを4で割ってみましょう。(例A： $44 \div 4 = 11$) (例B： $28 \div 4 = 7$)
 - ⑤ 答えはいくつになりましたか。(例A：11) (例B：7)
- Aさんの選んだ数字は9、Bさんは5ですね。(子供の答え-2をする)

年度初めの算数の授業でこの話をする、子供たちは「どうして分かったの?」と驚きます。そして、自分もやってみたいという気持ちになって考えます。そこで、①～⑤の流れを式に表しながら解いていきます。すると、どんな数を選んでも、選んだ数に2を足した数が答えになることを確かめられます。授業後の振り返りでは、「数っておもしろい」「算数って不思議」という感想が出されました。

6年生なら、計算式： $(a \times 4 + 8) \div 4 = a + 2$ という計算のきまりを見出すのもいいでしょう。6年生「文字を使った式」の導入で取り組む「誕生日当て遊び」も数当て遊びの一つです。楽しみながら計算できたり、計算のきまりが成り立ち、そのきまりを活用したりすると算数が楽しくなります。

第2回 浜松市教育研究会 算数科研究部研修会のお知らせ

- 1 日時 令和6年8月1日(木) 13:00～16:30
- 2 会場 浜松市教育会館
- 3 内容 ○講演会 筑波大学附属小学校・共愛学園前橋国際大学 大野 桂 氏
○演題 「子どもの学力差に応じる算数授業のつくり方
～数学的な見方・考え方をいかにして育むか～」

○実践発表
発表者 矢島ひとみ 教諭(庄内学園) 鷲山 莉奈 教諭(中川小)
助言者 高倉 健二 教頭(神久呂小) 勝永口昌宏 教頭(中川小)
- 4 その他 ○今回の役員当番部会は、7部会です。集合は12:00になります。7部会の先生方には詳細をミライムにて別途お知らせしますので、よろしくお願いします。
○駐車場に限りがありますので、乗り合わせでお越しください。また、当日は、駐車場係の指示に従って駐車をお願いします。

担当 広沢小 馬淵 達也